

■平成 29 年 3 月

平成 29 年 3 月 1 日～31 日の間、2 名の報道関係者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1)有識者との面談(31 日)

沖縄の基地問題に関する今後の取り組みについて、笹川財団 USA ホーナン上級研究員と意見交換を行いました。

(2)ワシントン DC 沖縄会 新春会(25 日)

ワシントン DC 沖縄会の年間最大行事である新春会に参加させていただきました。

ワシントン DC 沖縄会はメリーランド州、ヴァージニア州などワシントン近郊に在住する県系人等で構成されており、沖縄に在留経験のある米軍人も多く所属していることが特徴の一つとなっています。また、知事訪米や県主催のイベントの際には、会長、役員を中心に毎回多忙な中、力強い協力をいただいております。

(3)大学教授との面談(23 日)

ジョージワシントン大学の望月教授との意見交換を行いました。

新年度のワシントン駐在の体制、また、辺野古新基地建設阻止に向けた取り組み状況について説明し、今後も連携を取っていくこととなりました。

(4)報道関係者との面談(1 日)

在ワシントンの報道関係者との意見交換を行いました。

■平成 29 年 2 月

平成 29 年 2 月 1 日～28 日の間、7 名の報道関係者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1)有識者との面談(24 日)

ジョージワシントン大学関係者との意見交換を行いました。

「2月2日、3日に実施した沖縄コレクション関連イベントは充実したものであった。今後はワシントン DC において沖縄専門家を育成することは、基地問題など沖縄の課題解決にも資するため重要であり、沖縄コレクションとその取り組みについて、沖縄県民へ伝えていくことも重要である」と意見をいただきました。

(2) 大学教授との面談(13日)

ジョージワシントン大学の望月教授との意見交換を行いました。

平成 29 年 1 月 31 日から平成 29 年 2 月 3 日までの知事訪米並びにジョージワシントン大学における沖縄コレクション関連イベントについて振り返ると共に今後の取り組み等について意見交換を行いました。

■ 平成 29 年 1 月

平成 29 年 1 月 4 日～31 日の間、6 名の報道関係者等と面会いたしました。主な面会先及び内容は、以下のとおりです。

(1) 報道関係者との面談(13日)

トランプ新政権発足後の対応を検討するため、在ワシントンの報道関係者との意見交換を行いました。

(2) 報道関係者との面談(10日)

今後の米中関係について、意見交換を行いました。